

第 258 回 昭和の森自然観察会

でんでんむしむしカタツムリはいるかな？

山下 美佐子（東金市）

日 時：2013 年 6 月 9 日（日）13：00～15：00 天候：晴れ

参加者：25 名（大人 13 名、子ども 12 名）

指導員：14 名 担当指導員：藤田英忠 山下美佐子

お天気は汗ばむほどの良い天気。梅雨入りはしたものの、このところ雨はほとんど降らず、カタツムリは見つかるでしょうか？ 不安をよそに、受付を済ませた親子連れの参加者たちは、展示のミスジマイマイ、ヒダリマキマイマイ、オナジマイマイなどともう遊び始めて、カタツムリモード一色。最初は昔から子どもたちに親しまれてきたカタツムリの呼び方について話す。「ででむし」や「でんでんむし」など地方によって色々な呼び方があり、正式には「～マイマイ」と



名づけられている。何億年も前に海から上がった巻貝の仲間で、日本には微小貝も含めて 800 種類もの巻貝の仲間がいる。用意したカタツムリで、大触覚にある目、味や臭いを感じる小触覚、腐葉土や藻類、葉っぱなどを食べる口、空気を吸う穴などを確認。人参を食べたカタツムリの赤いうんちも観察して、カタツムリは色素を分解できないため、食べたものの色そのままのウンチを出すという説明。最後にカタツムリの綱渡りや、カッターの歯上を無傷で歩ける腹足のスゴ技を実演。

みんな「おお～」大歓声。

さあ～、いよいよ、カタツムリ探しです。初めにあらかじめ見つけていたミスジマイマイがいる元電話ボックスへ案内。10 日前の下見の時にもまったく同じ位置にいたけど、食事は摂っているのでしょうかね？ 菖蒲田に降りたところでウスカワマイマイを発見。これは畑に多く、野菜大好き。次にニッポンマイマイも発見。これは富士山のようにきれいな山形。私が見つけた！と女の子は大喜び！ 中菖蒲田の湧水付近で、6 月初旬に光るゲンジボタルの餌となる巻貝のカワニナ、田んぼでヘイケボタルが食べて大きくなるサカマキガイを観察。最後に落ち葉の下に住むヤマタニシを見つけ、土の中には、他に小さな微小貝もたくさん住んでいることを話す。午前中綺麗に花を開かせる下夕田池の睡蓮は、もう閉じていていたが、花菖蒲が両脇に咲く木道を通っての帰路は格別のようなようでした。

●観察した巻貝の仲間：

ミスジマイマイ、ヒダリマキマイマイ、ウスカワマイマイ、オナジマイマイ、ニッポンマイマイ、カワニナ、サカマキガイ、ヤマタニシ

●参加者の感想：

①カタツムリを見つけられて良かった。②カタツムリがどんな場所にいるかがわかった。③カタツムリのいろんな種類がわかった。④楽しかった。等々